

# Neues in Nara

Nr.47

2014年4月25日

Japanisch-Deutsche Gesellschaft Nara (JDG-Nara)

奈良日独協会 (会長 河野良文) 奈良市大安寺 2-18-1 大安寺内

Tel/0742-61-6312, Fax/0742-61-0473

<http://www.daijanji.or/jdgn/index.html>

編集委員：林 (hayashi@mercury.sannet.ne.jp) 峯本 ([hmine-24@m3.kcn.ne.jp](mailto:hmine-24@m3.kcn.ne.jp))



“これは会員相互のコミュニケーションツールです。皆様からの情報は編集委員へ”

## ●行事予定

### 1. 奈良日独協会・平成26年度年次総会開催予定

日時：5月18日(日)14時～15時

場所：大安寺催事棟

会員の皆様万障お繰り合わせのうえご出席願います。なお、平成26年度の会費(個人2000円、法人 一口4000円)の納入手続きを頂きますよう、よろしくお願います。

### 2. 第5回シュタムティッシュ

日時：5月18日(日)15時15分から約1時間

場所：大安寺催事棟

今回は、ソプラノ歌手として奈良だけでなく全国でご活躍の岡田由美子理事が「うたの宝物(輝き)」と題して楽しい懇親会を兼ねて、企画してくださいました。多くの会員の皆様のご参加をお待ちしています。

### 3. ムジークフェストなら2014

「ムジークフェストなら」は、3回目を迎え今年も6月14日から29日まで16日間にわたって奈良県全域で展開される。同フェストには当協会河野会長が実行委員として参画され、ソプラノ歌手の岡田理事が14日(土)東大寺大仏殿でのコンサートと25日(水)五条市藤岡家住宅での講演・音楽会に出演されます。

## ●行事報告

### 1. 第4回シュタムティッシュ

2月9日(日)午後、大安寺催事棟にて開催され、講師の渡辺清さん(会員一上の写真中央)が「東西両ドイツの統一時の状況」をテーマに、1989年11月9日の「ベルリンの壁崩壊」から、1990年10月3日の「東西ドイツの統一」に至るドイツの姿を、豊富な現場でのご経験を交えて話された。渡辺さんのユーモアと臨場感あふれる話の展開に、会場は熱気に包まれた。シュタムティッシュも回を重ねるごとに参加者が増え、今回は20名近くの盛況であった。



### 2. 全国日独協会連合会2014年度年次総会

4月21日、東京ドイツ文化センターにて開催され、峯本理事が出席した。

## ●会員だより

会員の豊住征子さんから

### 「懐かしきドイツ留学生活」



奨学金をもらい、反対している父親を親戚の人を通して説得させ、私は1973年から75年の2年間、宮廷歌手ゲルハルト・ヒュッシュ先生の元でドイツ歌曲を学んでいた。場所はミュンヘン。ミュンヘン大学の掲示を見て、ドイツ語の勉強の為に、3名のドイツ人が借りている所に下宿し、他にもレッスン室も借りていた。週2回の歌のレッスン、ヒュッシュ夫人からは週1回、詩の朗読・解釈について指導を得た。お二人は、クリスマスに招待して下さったり、滝を見に案内して下さったりと、私のドイツでの生活に、とても気を配って下さった。奨学金で生活していた私は、オペラを観る時は、いつも立見席から様々なオペラを見ていた。時々、座席案内のおじさんが、空席に座らせてくれたこともあった。幕間に食べた熱く煮たヨハネス苺のかけられたアイスクリームの味は忘れられない。食費代を節約し、数多くの演奏会に行ったことが思い出される。思い出としては、下宿近辺のエングリッシュ公園での散歩・美術館通い・ゴミの山でできたオリンピック公園での散歩・美人画の飾られているお城・ロココ建築のアザム教会・市庁舎の仕掛け時計のある周辺・郊外の美しいドイツの景色・森の中に入れる驚き・美しい湖・厳しい冬・蕾から花開く春になる瞬間などが目に浮かんでくる。また、家族の一員のように扱ってもらい、ヴァイルハイムに行ききっていたクライン一家への感謝。これら全てが私にとって音楽の糧になっている。